

仙台沿岸区域における海岸堤防建設に関する要望書

貴職におかれましては、東日本大震災からの復旧・復興活動に日夜、ご尽力を賜り、心から感謝と御礼を申し上げます。

さて、私たちが住む仙台市若林区六郷地区、とりわけ仙台東部道路から東側の5つの町内会の区域は今回の大津波で、多数の犠牲者を出し、家屋の流失・損壊など甚大な被害を受けました。

今後、安全面を考慮しながら私たちはどこに住んだらよいか、といった切実な問題をはじめ、この地区の復興まちづくりについて、いま、町内会をはじめ、地区の住民で真剣な議論が始まっています。国や宮城県、仙台市からはハード・ソフトの施策を組み合わせた「多重防御」による「津波防災まちづくり」の推進が提示されております。安心・安全なまちづくりのため、この際しっかりとした防災対策を関係機関にお願いする次第です。

そこで、防災施設の要諦となる海岸堤防（防潮堤）をどこに、どのような高さで建設するかが重要であると思います。防潮堤の高さについては7.2mと決まりましたが、建設場所は一部、井土浦地区については、井土浦河川堤防を嵩上げするか、海岸線沿いを名取川河口までまっすぐ延ばすか、2つの案があるように伺って

おります。しかし、この地区の将来にわたる安全性を考慮すれば、海岸線沿いに名取川河口まで防潮堤を延ばしていただく方が格段に望ましいと考えます。

よって下記の通り要望致しますので、事情ご斟酌の上、是非とも実現賜りますようお願い申し上げます。

記

1、地域の安全・安心の向上に十分配慮いただき、仙台湾南部海岸（仙台海岸区域）の井土浦地区に建設する海岸堤防（防潮堤）については海岸線沿いに名取川河口まで延ばしていただくこと。

2、この区域は一部漁港区域になっているため、国土交通省のみならず水産庁にも強く実現を要望していただくこと。

平成 23年10月11日

仙台市長

奥山 恵美子 様

六郷地区町内会連合会

会長 野中 孝



藤塚町内会

会長 東海林 義



井土町内会

会長 菊地 完



種次町内会

会長 大友 文男



二木町内会

会長 阿部 東悦



三本塚町内会

会長 佐藤 稔



平成23年10月21日

仙台市震災復興本部

本部長 山田文雄 殿

陳 情 書

東日本大震災による 岡田地区復興計画

岡田小学校を中心としたまちづくり、地域づくりを復興の基本とする

1. 仙台市は9月15日県道塩釜亘理線の東側を住宅の新築や増改築ができない「災害危険区域」の指定をし、集団移転を進める方針を固め、建築基準法第39条の適用をかける事に対し、異議を申し立て断固として反対します。
2. 海岸防潮堤、貞山運河をはさみ海岸防災林、丘（公園）を高さ10m、幅100m位の堤防を是非造り、岡田地区住民を守って下さい。
3. 県道10号線（塩釜亘理線）を嵩上げをする計画策定のように、新浜、南蒲生地区はまっすぐに七北田川右岸まで防潮堤をつくり、七北田川堤防とあわせ整備をし、将来は七北田川に橋をかけ、キリンビール南側道路につなぐ。（現在の県道10号線新浜南蒲生部分は嵩上げせず現状のまま利用する）
4. 移転希望者には、岡田地区に土地を造成し住宅の移転、集約化を図る。
5. 仙台市地下鉄を荒井から延伸し、新しい視点でのまちづくりを目指す。

以上

岡田地区町内会連絡協議会

岡田地区災害復興委員会

新浜町内会 会長 平山 新悦

南蒲生町内会会長 中島 正志

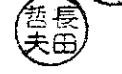
堀切町内会 会長 佐藤 勝慶

荻袋町内会 会長 黒澤 親雄

上岡田町内会会長 長田 哲夫

下岡田町内会会長 三浦 明

港南町内会 会長 中川恵美子



仙台市長

奥山 恵美子 殿

平成23年9月12日

岡田地区町内会連絡協議会 会長 平山 新悦

岡田地区農業関係役員仙台市農業委員 遠藤源二郎



要 望 書

○ 東日本大震災 岡田地域復旧・復興について

東部地域まちづくり計画策定にあたりましては、「減災」と「津波から逃げる」ことを基本として取り組んでおられますが、私共も今回の震災を経験をし、自らの安全と安心は、避難体制を含め地域に住み、住民自身がつくり上げる必要性を痛感しているところです。

今後の私ども岡田地区の「まちづくり」にあたりましては、以上を含め、十分に時間をかけて取り組む必要があるものと考えているところであり、計画策定に当たりましては是非、以下の事項を踏まえ計画されるよう要望するものです。

記

1 岡田地区については、当面、一律に災害危険区域の指定を行わないこと

岡田地区には、津波により家屋が流失した箇所もありますが、一階部分のみが被災したところも多く、県道塩釜亘理線の東側を一律に災害危険区域に指定することには疑問を覚えるものです。

現地再建を行いつつ、今後のまちづくりに十分に時間をかけ、各世代の声に耳を傾けながら取り組むことが、将来に禍根を残さないものと確信いたします。

また、営農を継続していく上でも、農地と集落の関係のあり方を十分に検討していくべきと考えております。

当面、災害危険区域の指定を行わず、十分に時間をかけてまちづくりの方向性を地域と共に検討されますよう要望いたします。

2 農業の再生を目指すこと

岡田地区は極めて優良な農地です。説明会によれば、災害危険区域は作付けを行わないとの印象を受けましたが、すでに被災地では作付けを開始した農家もあります。また津波によりミネラル分が豊富になったとの意見もあります。消費地を身近に置く都市型農業が仙台市の農業の特徴であることを踏まえ、この優良な農地を転用することなく、農業の再生を目指すことが、岡田地域の住民にとって願いであり、今後のまちづくりの支えになっていくものと考えます。

是非、農地として再生されることを要望いたします。

以上



市道位置図

